

dendera®  
LEDベースライト

取扱説明書

保管用

お客様へ

本製品の施工には電気工事士の資格が必要です。  
施工は必ず電気工事店(電気工事資格者)にご依頼ください。

施工業者へ

施工完了後、本説明書は必ずお客様にお渡しください。



■お問い合わせ先



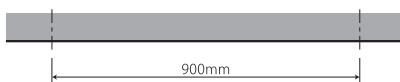
本社 〒812-0016 福岡県福岡市博多区博多駅南3-2-3  
TEL:092-412-0082 FAX:092-433-8868

株式会社 オーパーツ

## 取り付け・取り外し方法

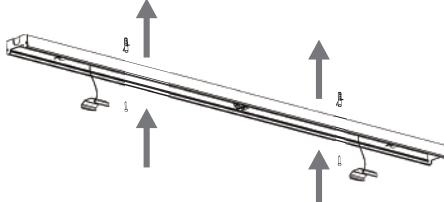
### 取り付け方法①

天井の取り付け場所に穴を2箇所開けてください。



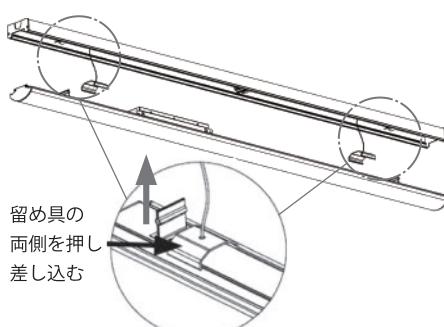
### 取り付け方法②

拡張チューブ付きネジで器具を天井に2箇所固定し、外部電源を器具側のコネクターに差し込みます。



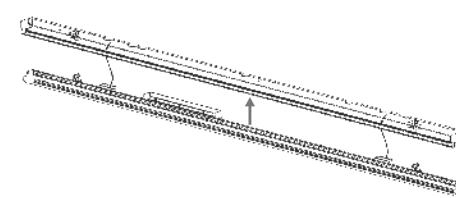
### 取り付け方法③

ライトユニットに、器具本体に付いている留め具を2箇所差し込み固定します。ライトユニット側と器具本体側の結線チューブを繋ぎます。



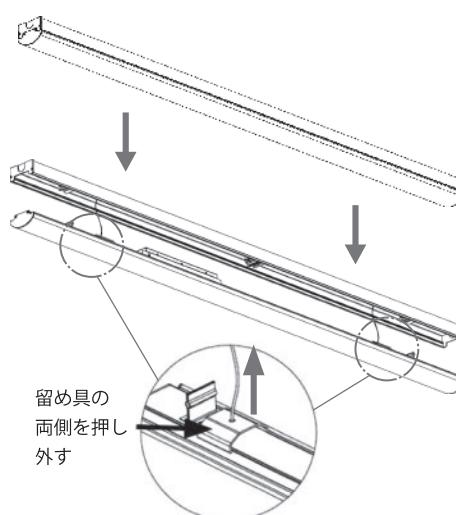
### 取り付け方法④

ライトユニット側の差し込み金具を器具本体のV型止め金に合わせて押し込みます。  
(ガチャと音がします)。



### 取り外し方法

ライトユニットを両手で引き出し、器具本体から外します。



## お手入れについて

- 器具の清掃については水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。  
シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。  
(変色・変質、強度低下による破損の原因となります。)
- お手入れの時は必ず電源を切ってください。(感電の恐れがあります。)
- ライトユニットのパネルは樹脂製です。取り扱いにご注意ください。(破損の恐れがあります。)
- 点灯中や消灯直後はライトユニットやその周辺を触らないでください。(やけどの恐れがあります。)

## 安全上のご注意

- 施工は、取扱説明書に従ってください。

(施工不備があると、不点灯・破損・感電・落下・火災の原因となります。)

- 必ず専用器具とライトユニットの組み合わせで使用してください。  
(感電・落下・火災の原因となります。)

- 器具、ライトユニットを分解、改造しないでください。  
(感電・落下・火災の原因となります。)

- ライトユニットのパネルは樹脂製のため、取り扱いに注意してください。  
万一、破損した場合、すぐに電源を切り交換してください。  
(破損によるケガの原因となります。)

- 万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常が発生した場合は、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼してください。  
(そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。)

- ライトユニットを取り外す場合は、必ず電源を切ってください。  
(感電の原因となります。)

- 本製品は調光対応になっておりませんので、調光回路には絶対に使用しないでください。  
(破損・火災の原因となります。)



警告

- 必ず定格入力電圧AC100~240V(±5%)の範囲内で使用してください。  
(照明器具の破損・発火・感電の原因となります。)

- 照明器具には寿命があります。  
設置して10年経つと、外観に異常がなくとも内部の劣化は進行しています。  
点検交換をしてください。  
(LED光源は寿命が来ても、暗くになりますが点灯し続けます。)  
(LED照明器具の光源寿命は、およそ40,000時間です。)

- 周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。  
-20°C~+40°Cの範囲内で使用してください。

- LED素子にバラツキがあるため、同じ型番のライトユニットでも光色・明るさが異なる場合があります。予めご了承ください。

- 電源電圧変動などの影響により瞬時に明るくなったり暗くなったりする場合があります。予めご了承ください。

- 点灯直後、消灯直後にプラスチックの伸縮によるきしみ音が発生する場合がありますが、故障や異常ではありません。  
静かな環境にてご使用の場合、きしみ音が気になる場合があります。  
この様な場合は、直管LED等のプラスチック製カバーのないタイプをお勧めします。

- 電源スイッチに片切スイッチを使用する場合、片切スイッチを電源の高圧側に設置してください。200V電源を使用する場合は、両切スイッチを使用してください。  
消灯時に放電する場合があります。

- 三相電源を使用する場合は、必ず接地側を器具の端子台のN側に接続してください。

- 電源と器具間に片切りスイッチを設ける場合、必ず非接地側(充電側)に取り付けてください。

- 下記のような環境では使用しないでください。

- ①振動・衝撃が多い場所
- ②腐食性ガス、可燃性ガスが生じる場所
- ③油類・薬品等が付着する場所
- ④塩素を使用する場所(室内プール等)
- ⑤直接、雨・風があたる場所



注意